

Julabo Case Study

JULABO PRESTO A80t

20Lの反応容器を
-40℃から+20℃に加熱する。



目的：

このケーススタディでは20リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO A80tの加熱能力を実施。
A80tは、片道1mのメタルチューブでリアクターに接続されています。
-40℃から+20℃にヒートアップされるようプログラムされています。

環境：

室温 20℃
湿度 45%
電源 208 V / 60 Hz

試験条件：

使用機種	ユラボ社製 PRESTO A80t
冷却能力	+20℃ 1.2 kW 0℃ 1.2 kW -20℃ 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
バンドリミット	with
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	20Lガラス製反応容器 (Chemglass) 容器内にはエタノールを19L充填しています。
ジャケット充填量	8L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果：

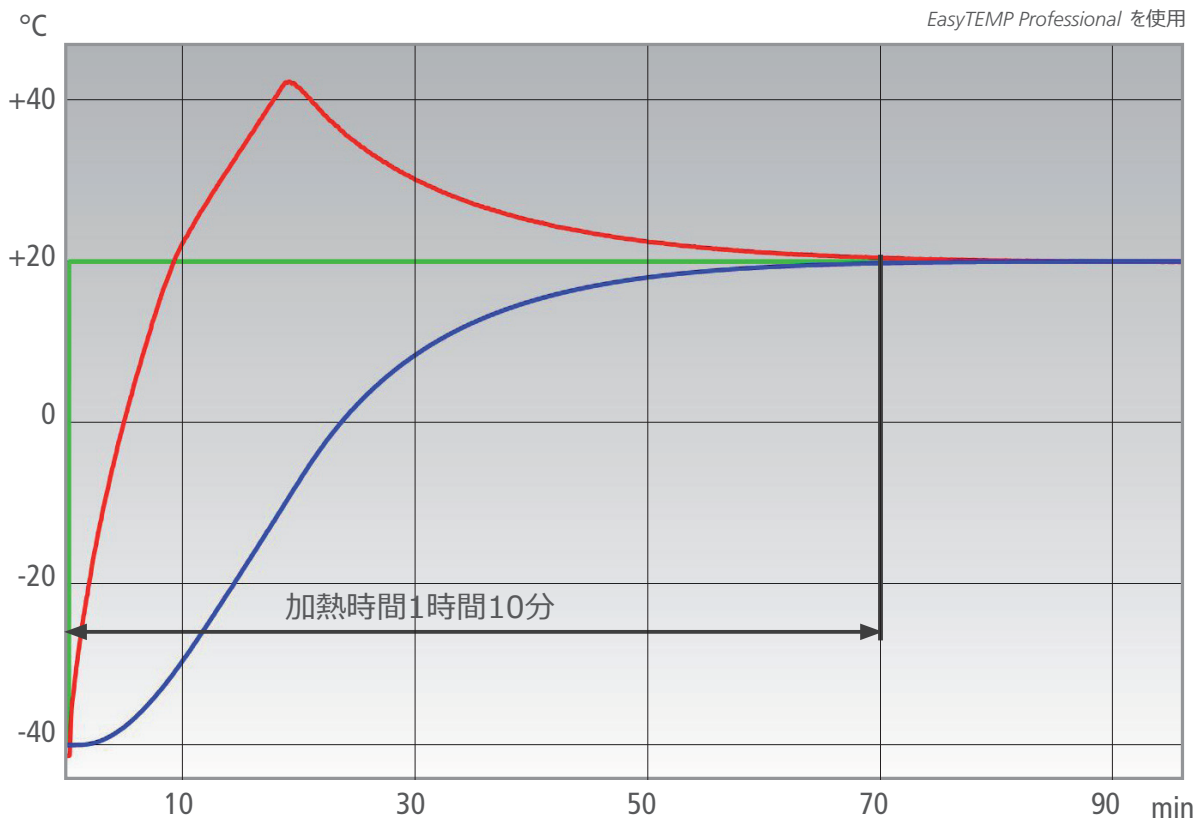
次ページのグラフをご参照ください。：A80t加熱プログラムでは、
-40℃から+20℃へ1時間10分間でオーバーシュート無しで実施。

その他機能：

弊社循環ホース
とアダプターを使え
ば捻じれること無く
接続出来ます。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能：
ポンプ吐出圧調整
機能を搭載
PRESTO®には
希望のポンプ吐出
圧数値で設定す
ることが可能です。

その他機能：
バンドリミッドでは、
容器内部温度とジャ
ケット温度の最大温
度差の設定が可能。
これにより、反応容器
の破損を防止します。

反応容器の構造

JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0